

クラスメイトに「私の夢」を スピーチしてみよう

～ NEW CROWN (2年) Lesson 5 ～

指導内容

▼指導内容 他の人の夢にふれる。
不定詞を習得させ、実際に活用させる。
自分の将来の夢ややりたいことについてスピーチをさせる。

▼つきたい力 体験学習の内容と関連づけ、「私の夢」についてスピーチができる。また、その内容について英語でやりとりができる。

技能と評価

評価する主な技能	<input type="checkbox"/> 聞くこと <input checked="" type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと <input type="checkbox"/> 書くこと
評価する主な観点	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションへの関心・意欲・態度
	<input checked="" type="checkbox"/> 外国語表現の能力
	<input type="checkbox"/> 外国語理解の能力
評価する主な方法	<input checked="" type="checkbox"/> 言語や文化についての知識・理解
	<input type="checkbox"/> ペーパーテスト評価 … 定期テスト等
	<input checked="" type="checkbox"/> パフォーマンス評価 … スピーチ、面談等
	<input type="checkbox"/> ポートフォリオ評価 … レポート、絵日記等

その他

◆「活用の時間」について： 4つの技能を統合的に活用したコミュニケーション活動
クラスメイトのスピーチ(「私の夢」)を聞かせ(「聞くこと」)、その内容についてまとめ(「書くこと」)させる。

◆「習得の時間」について： スモールステップを踏んだ授業の工夫
教科書本文やスピーチ原稿の音読では、最初に到達目標である抑揚や強弱、休止(プレス)に留意したスピーチの例を見せ、それに向かったスモールステップ(チャンク単位からセンテンスへの音読など)を設定する。

◆外国語活動との連携について

表現の関連: Hi, friends! 1 Lesson 4 “I like apples.”

Hi, friends! 2 Lesson8 “What do you want to be?”

内容の関連: ～が好き(一般動詞) / ～したい(to-不定詞)



1. 単元の目標

1. スピーチや、その後のやりとりにおいて、間違ふことを恐れずに話す。
2. 不定詞を用いて、まとまりのある内容で表現する。
3. 不定詞の用法を理解する。
4. 基本的なイントネーションの違いを理解する。

2. 単元について(教材観・指導観)

本単元では、主人公の健とエマが職業体験プログラムについての話す場面と、久美が「マイドリーム」についてスピーチをしている場面を取り上げている。このことから、将来の夢やってみみたいことなどを考えさせることができる教材である。言語材料として取り扱われる不定詞を用いたスピーチ活動から、自分の考えや意見を表現できる力を養う。

3. 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化に関する 知識・理解
・スピーチや、その後のやりとりにおいて、間違ふことを恐れずに話している。	・不定詞を用いて、まとまりのある内容で表現することができる。	/	・不定詞、動名詞の用法を理解している。 ・基本的なイントネーションの違いを理解している。

4. 単元の指導計画

	ねらい	言語材料	主な学習活動	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞(名詞的用法)を用いた文の構造を理解する。 ・本文の内容を理解する。 	Amy wants to read books. I want to be a doctor.	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞(名詞的用法)の用法を知る。 ・不定詞(名詞的用法)が使えるようにパターン練習をする。 ・教科書本文の意味を理解する。 ・本文をチャンクごとに音読をする。 	
2 習得	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞(副詞的用法、形容詞的用法)を用いた文の構造を理解する。 ・本文の内容を理解する。 	Tom went to the park to play volleyball. Miki has something to eat.	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞(副詞的・形容詞的用法)の用法を知る。 ・不定詞(名詞的用法)が使えるようにパターン練習をする。 ・教科書本文の意味を理解する。 ・本文をチャンクごとに音読をする。 	【ペーパーテスト】 ・不定詞の3つの用法を理解しているか。

<p>3 ・ 4</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本文のスピーチ原稿の内容を理解し、「私の夢」についてのスピーチを考える。 「私の夢」を振り返るために「Hi, friends! 2」を参考資料として活用する。 本文を参考にしながら、スピーチの原稿を書く。 スピーチの発表に向けて練習をする。 	<p>Hello, everyone. I'm going to tell you about my dream. I want to be a ____. I have two reasons. First, ____. Second, ____. So I want to be a ____. Thank you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書本文の内容を中心に応答練習をする。 教科書本文の意味を理解する。 本文の内容から考えを書く。 <p>例) 久美がなぜ花火師になりたいのかを読み取り、それに対して考え、自分の意見を持っているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> スピーチで使用する言葉のアイデアを出す。 スピーチ原稿を作成する。 	<p>【活動の観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語活動に必要な日本語と英語の文化的背景について理解しているか。 <p>【活動の観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不定詞を用いて、まとまりのある内容で表現することができるか。
<p>5 活 用</p>	<ul style="list-style-type: none"> スピーチで、間違ふことを恐れずに話している。 		<ul style="list-style-type: none"> 言語材料として取り扱われる不定詞を用いたスピーチ活動をする。 	<p>【活動の観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> スピーチで、間違ふことを恐れずに話しているか。

5-1. 「習得の時間」(2次)について

(1) 本時の目標

<ol style="list-style-type: none"> 不定詞の用法を理解する。 不定詞を用いて、本文の内容を対話文に置き換えて表現する。
--

(2) 本時の評価規準

- 不定詞の用法を理解している。
- 不定詞を用いて、本文の内容を対話文に置き換えて表現している。

(3) 本時の指導計画

	生徒の活動	教員の支援	指導の留意点
<p>導入</p>	<p>1. ウォームアップ キーワードゲームをする。 (5分)</p> <p>(1) 新出単語をフラッシュカードで音読する。</p> <p>(2) ペアでキーワードゲームをする。</p>	<p>○キーワードゲームの準備として、フラッシュカードで新出単語を音読させる。</p> <p>・机間巡回をしながら、生徒の様子を見てキーワードを発音する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新出単語に同音を含むものがない場合には、単語をよく聞かせるために、同音を含むものをつけたす等の配慮をする。

<p>展開 ①</p>	<p>2. 副詞的用法を理解する。(10分) (1) 副詞的用法の文構造を理解する。</p> <p>3. 副詞的用法を活用する。(15分) (1) 教科書本文のスキット劇を見て内容を理解する。 (2) Q&A シートを読む。 (3) 再度スキット劇を見ながら、「Q and A シート」を記入する。 (4) 「Q and A シート」の答え合わせをする。 (5) ALT と JTE のスキット劇を参考に、ペア活動として教科書の内容をオリジナルの対話文にする。</p>	<p>○不定詞の副詞的用法 ICT 機器を用いて、説明をする。 * パワーポイントを使ってパターン練習</p> <p>○(1回目) ALTとJTEで、ダイアログに書き換えられた教科書本文をスキット劇として見せる。</p> <p>(At the station after school)</p> <p>JET: Did you enjoy your day-at-work program? ALT: Yes, I did. I had a wonderful time there. JET: Where did you go? ALT: I went to the Sato family to experience farming in Japan. JET: Oh! The Sato family! They are my friends. They are very kind. However, I think tasks of farming in Japan are very hard. Were there a lot of tasks to do? ALT: Yes, there were. My father is a farmer, too. So now, I can compare Japanese farming with Australian farming.</p> <p>○(2回目) Q&A シートの質問を読ませた後、再度教科書の本文をスキットとして見せる。</p> <p>【Q&A Sheet】</p> <p>1) Where did ALT go as a day-at-work program? 2) Did ALT have a good time? 3) Why is JET surprised when ALT went to the Sato family? 4) What can ALT do now?</p> <p>○スキット劇を見つつ「Q and A シート」に記入させる。</p> <p>○「Q and A シート」の答え合わせをする。</p> <p>○教科書を見ながら、教科書の内容をオリジナルの対話文にさせる。</p>	<p>・モノログで書かれている教科書の本文を、ダイアログに書き換えスキット劇として生徒に演じる。</p> <p>・生徒同士のペアで活動させる。</p> <p>・自然に何度も黙読するため教科書を見ながら活動させる。</p>
<p>展開 ②</p>	<p>4. 教科書本文をセンテンスリーディングする。(15分)</p>	<p>○教科書本文をセンテンスリーディングさせる。</p>	
<p>まとめ</p>	<p>5. まとめをする。(5分) (1) 家庭学習の内容を確認する。</p>	<p>○教科書の音読及び筆写 センテンスリーディングを10回と筆写を3回させる。</p>	<p>・筆写や音読は、センテンスを意識しながらさせる。</p>

5-2. 「活用の時間」(5次)について


(1) 本時の目標

1. スピーチや、その後のやりとりにおいて、間違ふことを恐れずに話す。
2. 基本的なイントネーションの違いを理解する。

(2) 本時の評価規準

- スピーチや、その後のやりとりにおいて、間違ふことを恐れずに話している。
- 基本的なイントネーションの違いを理解している。

(3) 本時の指導計画

	生徒の活動	教員の支援		指導の留意点																														
		JTE(T1)	ALT(T2)																															
導入	<p>1. モデルを提示する。(5分)</p> <p>(1) 教員と ALT が示すスピーチとその評価例を知る。</p>	<p>○評価シートを示す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>例)</p>  <p>Hello, everyone. What do you want to be? We all have dreams. I want to be a professional soccer player. I have two main reasons. First, I like to play soccer. I am a member of Sirayuri soccer club. It is a soccer team for women. I want to be a member of Nadeshiko Japan for the future. Second, I want to go abroad. I'm interested in different cultures. Particularly, I like other cultures' food. I want to eat a lot of kinds of food around the world. Thank you for listening.</p> </div> <p>○ALT のスピーチを評価することで、具体的な評価のやり方を示す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>例) 評価シート</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>①Volume</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>②Attitude</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>③Memorization</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>④Intonation</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>⑤Content</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>Dream Reason</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑥良かった点</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑦改善点</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="display: inline-block; vertical-align: top; margin-left: 10px;">評価の観点を知ること、その観点にふさわしい練習をするように促す。</p> </div>	①Volume	1	2	3	②Attitude	1	2	3	③Memorization	1	2	3	④Intonation	1	2	3	⑤Content	1	2	3	Dream Reason				⑥良かった点				⑦改善点			
①Volume	1	2	3																															
②Attitude	1	2	3																															
③Memorization	1	2	3																															
④Intonation	1	2	3																															
⑤Content	1	2	3																															
Dream Reason																																		
⑥良かった点																																		
⑦改善点																																		

<p>展開①</p>	<p>2. ペアでのスピーチ練習をする。(10分)</p> <p>(1)ペアでお互いのスピーチを聞きあい褒め言葉(表現)を練習する。</p>	<p>○スピーチの練習をさせる。</p> <p>○机間支援では、発音及びイントネーションを中心に支援をする。</p>	<p>○机間支援では、褒め言葉(表現)を中心に支援する。</p>	
<p>展開②</p>	<p>3. 個人でのスピーチ練習をする。(5分)</p>	<p>○机間支援では、発音及びイントネーションを中心に支援する。</p>	<p>○机間支援では、発音及びイントネーションを中心に支援する。</p>	<p>・モデルスピーチを事前の授業で聞かせ、評価の仕方を知る。</p> <p>・前時の宿題として自分の夢を描かせ、それを用いてスピーチさせる。</p>
<p>展開③</p>	<p>4. 班でスピーチをし、互いに評価しあったり、感想を述べ合う。(25分)</p> <p>(1)グループ内で、1人ずつ発表をする。</p> <p>(2)発表では、事前に作成した絵や写真などのスライドを見せながら行う。</p> <p>(3)友達のスピーチに対して一言感想を英語で述べ、発表者に評価シートを渡す。</p>	<p>○発表が終わると、聞いていたグループのメンバーが一言ずつ感想を言うとともに、評価シートを発表者にわたすよう指示する。</p> <p>○絵や写真を見せながらスピーチさせる。</p> <p>○机間指導しながら、個々のスピーチへの感想を英語で話しかける。</p>	<p>○感想を述べる表現を提示する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> I think your dream is wonderful. If you become a carpenter, please build my house. I hope you will become a good doctor. </p> <p>○机間支援をしながら、個々のスピーチへの感想を英語で話しかける。</p>	<p>・できるだけ原稿を見ないようにスピーチさせる。</p>
<p>まとめ</p>	<p>5. まとめをする。(5分)</p>	<p>○家庭学習の説明をする。</p> <p>スピーチから、クラスメイトのスリーヒントクイズを作成する。</p>		